

人生の達人

おの安田様又日位

渡邊美樹社長との出会い ー

人生の達人 お客様 こんにちは

世の中には本当に「スゴイ」人がいるものですね

私は青年会議所の活動を行っておりますが、5月に公館例会の講師として和風居酒屋「和民」(わたみ)を経営されている「タミノ」(タミノ)様とご縁がございました。お話を聞く機会がありました。

渡邊社長は現在四〇歳、気鋭の若手起業家として経済界で今最も注目されている人物です。

母親の死と父親の倒産を二〇歳で経験し、その時に「将来絶対に社長になる」ことを決意され、一四歳で会社を設立

様々な困難を乗り越え、創業わずか十六年目の本年三月、東証一部市場を果たしました。

渡邊社長は常に「夢は叶えたい、絶対に叶えたい」といっています。そしてその経営目的は

「ひとりでなくてもお客様にもらゆる出会いとつながりの場と安らぎの空間を提供すること」

「会社の繁栄、社員幸福、関連会社、取引業者の繁栄、新しき文化の創造、人類社会の発展、人類幸福への貢献」

自分の夢に叶えたい、絶えず社員やアルバイトに語り、着実に実現させていられました。

とごかく「パワフル」で聞く人を圧倒していました。しかし決して奢った様子もなくむしろ非常に「謙虚」で常に「感謝」の念をもち、そしてとても愛情を持った人であることは非常によくわかりました。

その後の懇親会も本来の予定であれば三十分程度参加されて翌日の仕事の為に早めにホテルへ戻られることになっていましたが、私たちがへの気遣いと渡邊社長自身も楽しかったのが、最後までお付き合いをいただきました。

この講演の翌日にお礼状とちょっとした品をお送りしたのですが、非常に「多忙にもかかわらず」にお礼のお手紙をいただき、驚いたのと同時に、「この方にはどうお返ししても追いつくことはできないな」とつくづく感じました。

『あなたの仕事はなんですか。お客に何を売っていますか。モノですか。あなた自身は売られていますか。』

この言葉はV.O.R.の中でご紹介した友人の会社が発行している社内報の中の話です。

本誌に「真剣」(まけん)と書き、実行へと行ったならば、かいたならば、業績を伸ばすことができてくるのかも知れません。

結局のところ、商売は「人」と「人」の間で行われるものですね。

渡邊社長には遠く及ばないけれど、一歩でも近づくべく、今日からまた気持ちも新たに頑張りたいと思います。

ありがとうございました！ - 酒造大会展示会 in 金沢 -

この度の金沢で行われた「全日本醸造機器用品組合 金沢大会」では酒造大会と会場を異にしている中で、わざわざ足をお運びいただき本当に感謝いたしております。

ご案内を差し上げていながら接客中などお話ができなかった方も中にはおられたのではないかと思います。誠に申し訳ございませんでした。

今回の展示会では清酒の消費が減少する厳しいなか、それでも酒質の向上のため、既存タンのサーマル化に興味を持たれ、実際にお引き合いをいただいた蔵元様が少なからずおられたことは、大変な感動でございました。

本当に厳しいご時世ですが、『今、動かねばなんともならない』『良くなってから・・・ではなく自分達で良くしていくのだ』と意識の高い蔵元様がたくさんおられることを痛感し、弊社といたしましても「安価で酒質の向上が図れる製品」を今後も開発していきたいと思しますので、何卒変わらぬご愛顧のほどをお願い申し上げます。

Let's Try together!

「衆知を集める」

私「ねえねえ、これについてはどう思う？」 Y主任「うーん、そうですね」

M次長「そんな自分一人で決めたらよろしいやん、私「いやいや、松下幸之助さんも言ってたじゃない、衆知を集めることをしない人は駄目だって...」経営の神様と言われる松下幸之助氏は始終一貫してこの「衆知を集めた全員経営」をこころがけたそうです。

自分だけの知恵では及ばないところや偏った点も出てきて、往々にしてそれが失敗に結びついてくる。だから多くの人の知恵をあつめてやるに越したことはない、ということなのだそうです。

M次長「そやかてお昼のお弁当決めるのになんで衆知をあつめなあかんの?!」

私「だって、美味しいのを食べたいんだもん」 M次長・Y主任「.....」